

2017年度 保護者向けサービス評価 結果及び対策・改善報告書

評価項目	調査結果 及び 対策	改善結果（進捗状況）
環境・体制整備	<p>子供達が喜ぶ企画などがあり、外出機会も作ってくれているとの評価。今後も継続。はなえみ活動スペースが狭いとの感想もあるが、現時点では、対応できないため子どもたちが窮屈に感じないような空間配慮が必要。</p> <p>適切な職員の配置に関しては、「やってくれていると思う」との評価。具体的説明の機会を設け、家族会などを通して、情報提供していく。</p> <p>バリアフリーの配慮に関しては、事業所が老人施設内ということもあり大丈夫との評価。</p>	<p>限られたスペースの中で、障害の状態に合わせた支援が出来るようグループ分けをすることにより、窮屈さを解消しトラブルの軽減に努めている。</p>
適切な支援の提供	<p>定期的な計画書の変更や、一時的な子どもの変化にも対応しているとの評価を頂いた。</p> <p>活動プログラムも季節感を意識した内容との評価。今後も継続。</p>	<p>モニタリング・アセスメントを実施し、ご家族・支援員と共に同じ目標に向かったより個別の支援が適切に実施できるよう月 1 回開催の会議にて検討している。</p>
保護者への説明	<p>保護者に対しての面談に対して共感していただき嬉しいとの評価あり。</p> <p>ただ、保護者会等を通じた交流や連携は難しいのではとの意見を頂いた。放デイの家族会を通しての交流支援も深めて行きたい。</p> <p>苦情等は今の所に出ていませんが、苦情発生した場合は、保護者への公表はスピーディーにしていく。</p>	<p>保護者会のあり方については、検討していかなければいけない課題。テーマをどう絞り、よりタイムリーな問題を解決したり、保護者同士の交流の場としての提供が出来るよう、はなえみ（4事業所）全体で検討中。</p>
非常時の対応	<p>非常時のマニュアルは作成済みであるが、それに関する情報を提供できていないため、保護者への情報は開示していく。</p>	<p>定期的な避難訓練は実施しているが、保護者への発信が不十分だった。今後は、「はなえみ</p>

	また、来年度からは定期的な避難訓練を実施していくため、その様子も含めて発信していく。	便り」にて発信していく。
満足度	低学年の児童が多い中で、高学年向けの活動もあると嬉しい。子どもが「はなえみ行きたい」と言っていることから、楽しく過ごすことが出来ていると思うとの回答を頂いた。今後も、子どもが満足できる場所を提供していきたい。	学校とは異なる、小集団ならではの活動を通して、自分なりのコミュニケーションが学べる場所としてSSTを活用したレクリエーションを取り入れている。

(まとめ)

今年度からの事業ではあるが、おおむね高評価を頂いた。しかし、本当の評価は、今後ますます厳しくなってくると思う。需要がある以上は、答えていきたいが、今の状況で何が出来て、何が難しいのかを職員全員で共有し、認識していきたい。

利用する本人にとって学校でもなく、家でもない「居場所」としてはなえみが成長できれば、児童から成人するまで地域に携われる機会を提供できると思われる。

本人・家族の支援が出来る基盤としての「はなえみ」になっていけるよう今後も展開していきたい。